

# 政策調整会議の概要

開催日 令和8年6月11日（木）

## ◎項 目

- 1 CD0 補佐官との意見交換会にかかる資料の作成について
- 2 歳入確保に向けた県有施設等へのネーミングライツの導入検討にかかる調査について

## ◎内 容

### 1 CD0 補佐官との意見交換会にかかる資料の作成について【総合企画部】

#### ○総合企画部副部長

本事業は、デジタル技術を活用した新規事業の創出を支援するもので、本県が CD0 補佐官として委嘱している東京大学大学院の越塚教授と意見交換を行う事業を募集する。

昨年度は各部局 1 件以上の提出を必須とし、副部長レベルの意見交換であったが、今年度はより実務的な意見交換を行うため、アイデア段階での課長レベルの意見交換に変更する。また、昨年度は審査に近い印象を持たれる場面もあったため、今年度は助言・ブラッシュアップを重視し、よりサポート体制を強化していく。

特に重要なのは、来年度の予算化を検討しているデジタル技術を活用した新規事業である。この意見交換の場を活用いただき、事業内容の磨き上げを行い、当初予算につなげていきたいと考えている。

近年は AI が非常に急速に発達している。こうした技術を活用することで、様々な形で県民サービスの向上が考えられるのではないかと思う。ぜひ積極的なご提案をお願いします。

### 2 歳入確保に向けた県有施設等へのネーミングライツの導入検討にかかる調査について【総務部】

#### ○総務部財政課長

昨年度、本県でもネーミングライツを開始した。春野総合運動公園陸上競技場を「GIKEN スタジアム」、県民文化ホールを「新来島高知重工ホール」とネーミングライツを付与し、ネーミングライツ料を徴収している。

他県の事例を見ると、かなり幅広く実施されており、イベントや道路・橋梁など、対象施設を一覧に明示して公募している事例もあるため、今年度は少しスコープを広げることも検討している。

については、各部局において、指定管理施設等の県有施設、道路・橋梁等の各施設・設備、県主催イベント冠スポンサーの3分野について、ネーミングライツ導入の可否を検討いただきたい。

## 副知事

先日、ワークライフバランス社と働き方改革に係るタスクフォースを実施した。タスクフォースにおいて、職員アンケートを実施したところ、「スクラップアンドビルドを進めてもらいたい」というご意見が非常に多かった。

この点について、専門家のコンサルタントに相談したところ、職員の要望には「賞味期限」があるという指摘をいただいた。アンケート実施後、しばらく何もしないと、職員の意識が薄れてしまう懸念である。

具体的には、スクラップアンドビルドについて、おおむね3ヶ月程度経ってしまうと職員の興味・関心が低下してしまうという指摘をいただいた。

3ヶ月後は、サマーレビューの時期になる。今年は、こうした要望を踏まえた上で、スクラップアンドビルドの実施について、具体的な方向性を各部局で検討していただき、打ち出していきたい。